

## 低緯度境界領域による二成分プラズマとその IMF 依存性

## Two components of plasmas in the LLBL and IMF dependence

# 高島 貞裕[1], 長井 嗣信[1]

# Sadahiro Takashima[1], Tsugunobu Nagai[2]

[1] 東工大・理・地球惑星

[1] Earth and Planetary Sci., TITECH, [2] Dept.Earth & Planet. Sci.

Low latitude boundary layer での E-t digram を調べてみると高エネルギープラズマと低エネルギープラズマの二つを同時にもつ領域があることがわかる。本研究では 1 keV 以上を高エネルギープラズマとし、1 keV 以下を低エネルギープラズマとしてこの領域を定義し Geotail 衛星のデータを解析した。その結果このイベントは 55 例見つかかり、主に dusk 側に存在することがわかった。また Dusk 側において 2 成分プラズマを持つイベントと持たないイベントの IMF 依存性について調べ、タイムラグを 1 時間とし一時間平均の磁場を解析したところ 2 成分プラズマが観測されるイベントは主に IMF が北向きの傾向を持つことが分かった。